

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和2年1月9日(2020.1.9)

【公開番号】特開2017-225709(P2017-225709A)
 【公開日】平成29年12月28日(2017.12.28)
 【年通号数】公開・登録公報2017-050
 【出願番号】特願2016-125065(P2016-125065)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月19日(2019.11.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報が配置された表示帯を移動させることで変動表示可能な可変表示部を複数備え、

前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

表示帯の移動中において前記導出操作手段の操作が判定されるまで待機する待機処理を実行する待機処理手段と、

前記待機処理において前記導出操作手段の操作が判定されることで、表示帯を停止させるための停止処理を実行する停止処理実行手段と、

前記停止処理による表示帯の停止後、移動中の表示帯が残っている場合に前記待機処理に復帰させる復帰手段と、

異常が生じた可能性のある特定事象が発生したか否かの判定を表示帯の移動が開始してから全ての表示帯の移動が停止するまでの期間において行うことが可能な特定事象判定手段と、

定期的に、実行中の処理に割り込んで定期割込処理を実行する定期割込処理実行手段と

を備え、

前記定期割込処理実行手段は、前記定期割込処理において前記導出操作手段の操作状況を更新し、

前記待機処理手段は、前記待機処理中において該待機処理に割り込んで前記定期割込処理が実行される毎に1回、該定期割込処理において更新された前記導出操作手段の操作状況に基づいて前記導出操作手段が操作されたか否かの判定を行い、

前記特定事象判定手段による判定は、前記待機処理中において該待機処理に割り込んで前記定期割込処理が実行される毎に1回行われる一方で、前記停止処理中においては行われず、

前記待機処理において、該待機処理に割り込んで実行された前記定期割込処理が終了した後、前記特定事象が発生したか否かの判定が行われた後に前記導出操作手段が操作されたか否かの判定を行い、

前記スロットマシンは、データの読み出し及び書き込みが可能なデータ記憶手段を備え

、
前記データ記憶手段の記憶領域は、遊技に関連する第1処理に用いられる第1記憶領域
と、前記スロットマシンの異常を判定するための第2処理に用いられる第2記憶領域と、
を含み、

前記第1記憶領域の記憶内容は、前記第1処理の実行により参照および更新され得る一
方、前記第2処理の実行により参照のみされ得、

前記第2記憶領域の記憶内容は、前記第2処理の実行により参照および更新され得る一
方、前記第1処理の実行により参照のみされ得る、スロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

各々が識別可能な複数種類の識別情報が配置された表示帯を移動させることで変動表示
可能な可変表示部を複数備え、

前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表
示結果の組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

表示帯の移動中において前記導出操作手段の操作が判定されるまで待機する待機処理を
実行する待機処理手段と、

前記待機処理において前記導出操作手段の操作が判定されることで、表示帯を停止させ
るための停止処理を実行する停止処理実行手段と、

前記停止処理による表示帯の停止後、移動中の表示帯が残っている場合に前記待機処理
に復帰させる復帰手段と、

異常が生じた可能性のある特定事象が発生したか否かの判定を表示帯の移動が開始して
から全ての表示帯の移動が停止するまでの期間において行うことが可能な特定事象判定手
段と、

定期的に、実行中の処理に割り込んで定期割込処理を実行する定期割込処理実行手段と

を備え、

前記定期割込処理実行手段は、前記定期割込処理において前記導出操作手段の操作状況
を更新し、

前記待機処理手段は、前記待機処理中において該待機処理に割り込んで前記定期割込処
理が実行される毎に1回、該定期割込処理において更新された前記導出操作手段の操作状
況に基づいて前記導出操作手段が操作されたか否かの判定を行い、

前記特定事象判定手段による判定は、前記待機処理中において該待機処理に割り込んで
前記定期割込処理が実行される毎に1回行われる一方で、前記停止処理中においては行わ
れず、

前記待機処理において、該待機処理に割り込んで実行された前記定期割込処理が終了し
た後、前記特定事象が発生したか否かの判定が行われた後に前記導出操作手段が操作され
たか否かの判定を行い、

前記スロットマシンは、データの読み出し及び書き込みが可能なデータ記憶手段を備え

、
前記データ記憶手段の記憶領域は、遊技に関連する第1処理に用いられる第1記憶領域
と、前記スロットマシンの異常を判定するための第2処理に用いられる第2記憶領域と、
を含み、

前記第1記憶領域の記憶内容は、前記第1処理の実行により参照および更新され得る一
方、前記第2処理の実行により参照のみされ得、

前記第 2 記憶領域の記憶内容は、前記第 2 処理の実行により参照および更新され得る一方、前記第 1 処理の実行により参照のみされ得る。

スロットマシンは、以下のように構成されてもよい。

手段 1 のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報が配置された表示帯を移動させることで変動表示可能な可変表示部（リール 2 L、2 C、2 R）を複数備え、

前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシン（スロットマシン 1）において、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L、8 C、8 R）と、

表示帯の移動中において前記導出操作手段の操作が判定されるまで待機する待機処理を実行する待機処理手段（停止操作を待機する処理）と、

前記待機処理において前記導出操作手段の操作が判定されることで、表示帯を停止させるための停止処理を実行する停止処理実行手段（停止位置を設定し、リールが停止するのを待機する処理）と、

前記停止処理による表示帯の停止後、移動中の表示帯が残っている場合に前記待機処理に復帰させる復帰手段（リールの停止後、回転中のリールが残っている場合に再び停止操作を待機する処理に復帰）と、

表示帯の移動中に異常が生じた可能性のある特定事象（投入払出エラー、ドア開放検出スイッチ 25 の出力状態の変化、リール回転エラー）が発生したか否かを判定する特定事象判定手段（投入払出エラーチェック処理、ドア開放チェック処理、回転エラーチェック処理）と、

を備え、

前記特定事象判定手段は、前記待機処理（停止操作を待機する処理）中において前記特定事象が発生したか否かを判定する一方で、前記停止処理（停止位置を設定し、リールが停止するのを待機する処理）中において前記特定事象が発生したか否かを判定しない

ことを特徴としている。

この特徴によれば、表示帯の移動中において導出操作手段の操作が判定されるまで待機する待機処理中においては、異常が生じた可能性のある特定事象が発生したか否かが判定されるので、表示帯の移動中の大半を占める状態においては特定事象を判定できる一方で、導出操作手段の操作が判定された後、表示帯を停止させるための停止処理中においては特定事象が発生したか否かが判定されることがなく停止処理中の負荷が軽減されるため、停止処理中に余計な処理が行われることにより意図しない位置で表示帯が停止してしまうことを防止できる。